資料３

令和２年度

学校経営・運営ビジョン、各部・各学年努力目標

評価・分析・反省

福島県立会津第二高等学校

令和２年度　学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階　：　４【そう思う】　３【まあまあそう思う】　２【あまりそう思わない】　１【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	評価	順位
Ⅰ	学校経営・運営ビジョン			
自ら学ぶ意欲の育成				
1	基礎基本の定着			
①	習熟度に応じた分かりやすい授業を目指します。		3.3	15
②	繰り返し学習を徹底し学習事項の定着を目指します。		3.6	6
2	受験指導の充実			
①	個別添削指導、模擬面接、小論文指導を通して、進路達成を支援します。		3.3	15
3	充実した学校生活			
①	学校行事・部活動を通して、円滑な人間関係を育成し、連帯感を深めます。		3.4	12
②	個別面談を通して、学習上の悩みや課題の解決、また、学校生活における悩みや課題の解決を目指します。		3.4	12
	結果に対する分析・反省　(担当:教務)			
	「１基礎基本の定着」については、各教員が少人数という本校の特徴を生かし、丁寧な授業を心掛けてはいるが、実際には個人差があると思われる。今後も教員同士で授業実践例等を共有しながら、授業改善に努めるべきであると考える。「２受験指導の充実」については、模擬面接を主として全職員が協力して指導にあたり、生徒内定の大きな力となった。その一方で、教員が働きかけても動きの鈍い生徒もおり、そうした生徒の進路意識を高める工夫が必要である。「３充実した学校生活」については、今年度はコロナウイルスの影響で様々な活動が制限されたが、各担任が窓口となり、生徒のケアに努めた。			
職業観の育成				
1	進路意識の向上			
①	『進路講話』『就職準備会』など、進路行事を通して、進路意識の高揚を図ります。		3.3	15
②	企業訪問の充実と、就職面接会への積極的参加を目指します。		3.1	24
2	進路情報の活用			
①	『進路だより』を通して、生徒・保護者への情報発信に努めます。		3.3	15
②	ハローワークをはじめ、関係機関との連携を元に、進路達成を支援します。		3.3	15
3	進路相談の充実			
①	担任、進路係、進路アドバイザーとの面談を通して、進路希望達成に向けて個々の支援を図ります。		3.3	15
	結果に対する分析・反省　(担当:進路指導)			
	１①進路講話は目的別に低学年、高学年に分けて実施し、新型コロナの影響で４年生は８月に就職準備会を実施したことが進路意識の高揚につながった。②新型コロナの影響で企業訪問は三社のみだったが、内定者のお礼訪問は内定した企業全部を対象に実施できた。企業訪問の内容は進路だよりに掲載し在校生への進路意識の喚起を図った。内定した生徒にはお礼訪問の内容を伝え４月からスタート出来るように助言を与えた。就職面接会は該当者がおらず参加者はいなかった。新型コロナの影響が多少はあった。２①進路だよりの発行の時期,内容を工夫したい。②ハローワークの就職支援ナビゲーターとは会議等で、進路アドバイザーとは打ち合わせを特定の曜日と時間に設定し固定したこと、更に必要があれば電話連絡等をし密にした。３①新型コロナの影響で例年の実施時期より遅れて実施した。時間に遅れる生徒が多少見受けられた。			
社会性の育成				
1	基本的生活習慣の育成			
①	登下校指導・給食指導を通して規則的な生活習慣を育成します。		3.2	22
②	『生活体験発表会』を通して、自己実現を支援します。		3.6	6
③	個別面談を通し、生活上の課題解決を支援します。		3.6	6
2	安全教育の推進			
①	『教薬物乱用防止教室』『交通安全教室』『スマホ・ケータイ安全教室』等を実施し、安全意識向上に努めます。		3.7	2
②	『相談室だより』を通して、安全な生活の向上を支援します。		3.7	2

3	心と身体の健康			
①	「ほけん便り」「給食だより」を通して情報発信に努め、健康意識を高めます。		3.7	2
②	個別面談を通し健康の支援をします。		3.4	12
③	『心の健康教室』を通し、精神面での支援をします。		3.6	6
	結果に対する分析・反省　(担当:生徒指導)			
	1－①普段から声かけを通して挨拶、礼儀、行動、言動など基本的生活習慣の確立を目指したが、生徒によっては身についておらず継続的にその都度指導が必要である。1－②国語科の先生を中心に文章表現や書き方などを指導し、貴重な体験を通して心の成長が出来た。1－③生徒の実態把握や問題解決を促す事が出来た。2－①スマホ安全教室や薬物乱用教室では、生徒自ら考える学習が出来き、安全に対しての意識が高まった。2－②指導部だよりを通して、安全意識の向上と規範意識の徹底が出来た。3－①②③各便りや教室を通して健康意識の向上や精神面でのサポートが出来た。			

地域社会との連携

1	学校・家庭・地域との情報共有、連携の強化			
①	『ホームページ』『PTA会報』『学校だよりオーロラ』による情報提供に努めます。		3.6	6
②	授業や学校行事の公開に努めます。		3.3	15
③	学校評価に取り組み結果を公表します。		3.7	2
④	服務倫理委員会を定期的に開催し、不祥事の根絶を目指します。		3.8	1
⑤	ボランティアの機会を通して社会貢献の意義と役割を実感させます。		3.6	6
2	事業主との連携強化と、働く生徒の支援			
①	在学中の就業率を向上させるため、就労情報の提供や、相談を充実させ、就業定着指導に努めます。		3.2	22
	結果に対する分析・反省　(担当:保健)			
	1①学校行事等を通して生徒の学校生活を通しての学びの様子がわかり、的確な情報提供であったと思う。②授業公開を実施し、志願する生徒の学校理解にもつながっている。③ホームページで学校評価を公表し、開かれた学校を目指している。④不祥事根絶のために定期的に服務倫理研修を行うとともに、毎月のチェックシートを通して、各自が不祥事防止について再認識を図っている。⑤ボランティア活動を通して社会貢献でき奉仕する喜びなど醸成ができた。			

Ⅱ　教務部

1	授業及び学習環境の充実を図る。			
①	①言語活動を適切に位置づけた学習指導年間計画を各自作成するとともに、評価基準を明確化する。		3.4	10
②	②授業時間の確保および規律遵守の観点から授業時の「chime to chime」を行う。		3.6	5
③	③出張等、各教員の動向に常に気を配り、必要がある場合には特別時間割を作成する。		3.8	1
④	④自習時間を作らないために、教科担任不在の際は、授業交換や授業代行を積極的に行う。		3.8	1
⑤	⑤次年度に向けて、生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成する。		3.7	3
2	生徒個々の状況や希望を考慮した学習支援に努める。			
①	①成績不振者や欠課時数が増えてきた生徒に対し、改善指導をする。		3.4	10
②	②ガイダンスや部長面談を通して三修制について生徒に説明する。		3.7	3
③	③生徒を理解するため部長面談を実施する。		3.6	5
④	④進路希望に応じ、各教科において個別指導を実施する。		3.3	13
3	生徒の主体的・対話的な姿勢を育成し、深い学びを目指す。			
①	①各種研修(アクティブ・ラーニングを含む)の成果を伝達講習等を通じて全職員で共有する。		3.6	5
②	②授業において各自が目的を持ってALを取り入れ、その実践結果について互いに意見交換をする機会を設ける。		3.6	5
③	③生徒の主体的、対話的な活動を促すためによりよい課題学習のあり方について全教員で協議する。		3.2	15
④	④ルーブリックを理解するために教員研修の機会を設け、その上で本校に適したルーブリックを作成する。		3.2	15
4	保護者および地域への情報発信を行う。			

①	①学期末などに保護者と担任が情報交換をする機会を設定する。		3.3	13
②	②学校案内を作成する。		3.6	5
③	③ホームページで学校情報を発信する。		3.4	10
	結果に対する分析・努力目標の反省			
	「1」については、今年度も、全職員が授業時間確保に対し高い意識を持っており、授業交換や授業代行が１００％なされた。令和４年度から始まる新課程に対し、今年度から各教科での検討を始めているが、本校に合った教育課程をしっかりと編成していきたい。「2」については、配慮が必要な生徒が多い本校において、担任を中心にさまざまな場面で生徒の観察や声かけを行い、状況把握に努めた。欠席が多い生徒が少なからずいるが、本人の意欲や家庭環境等、その原因はさまざまであり、今後もスクールカウンセラーや外部機関などと連携しながら、学校不適応の生徒を減らしていきたい。「3」については、コロナの影響で残念ながら課題学習を含む各種活動が制限されてしまったが、改めて「深い学び」につながる授業のあり方を検討する必要がある。			

Ⅱ　生徒指導部

1	基本的生活習慣の育成…ルールを遵守する態度、基本的生活習慣を身に付けさせる。			
①	登下校指導の実施		3.6	9
②	給食指導		3.6	9
③	集会時の指導（整列指導・講話）		3.3	19
④	遅刻早退者への個別指導		3.0	20
⑤	集会時の講話		3.7	4
⑥	「生徒指導部だより」の配布		3.7	4
⑦	職員室等への入退室における挨拶指導		3.4	15
2	主体性の育成…主体性を育成するとともに、生徒理解に努める。			
①	ボランティア活動の実施		3.6	9
②	アルバイト先の調査・指導		3.4	15
③	生活体験発表の指導		3.7	4
④	個別面談の実施による生徒の状況把握		3.4	15
⑤	担任との連携による生徒理解		3.6	9
⑥	中学校訪問による新入生の状況把握		3.8	1
⑦	被害実態調査の実施		3.7	4
⑧	いじめアンケートの実施		3.8	1
3	安全教育の推進…安全教育を徹底し、生徒の意識を高める。			
①	交通安全教室の実施		3.4	15
②	薬物乱用防止教室の実施		3.6	9
③	インターネット・防犯教室の実施		3.6	9
④	啓発ポスターの掲示・更新		3.7	4
⑤	「休業中の生徒心得」発行		3.8	1
	結果に対する分析・努力目標の反省			
	1－①②③当たり前の事がごく普通に出来るよう継続した指導を行いたい。④特に遅刻や欠席が多い生徒を個別指導を行っているが、生徒によっては継続的に指導していきたい。⑥指導部便りを毎月発行しLHR等で各担任より注意を呼びかけている。２－①鶴ヶ城の清掃を真面目に取り組み、ボランティア精神を育むことができた。②年度初めにアルバイト先等の調査を行った。③生徒の思いが詰まった素晴らしい発表会であった。⑥生徒指導部を中心に中学校時の状況を把握できた。⑦⑧いじめ等が学校内で無く、生徒が他者を「リスペクト」する気持ちをもって生活している。３-②③今年度は外部講師を依頼し、生徒の安全面に関しての意識が高まった。スマホ安全に関する標語を生徒に作成させ若松警察署に応募した。①今年度実施出来なかったが、集会時の講話などで全体に注意喚起することができた。			

Ⅲ　進路指導部

1	進路意識の向上を図る。			
①	生徒との面談や進路希望調査を通して生徒の進路希望を早期に把握し、計画的に個別面談等の指導にあたり、就職面接会等に積極的に参加させる。		3.6	5
②	進路講話、就職準備会等の進路行事を実施する。		3.7	2
③	就職の手引き、進学の手引き、公務員の手引きを作成する。		3.6	5
2	望ましい職業観を育成する。			
①	アルバイト等、就労の奨励に努め、諸手続きの際の挨拶をしっかり指導する。		3.3	10
②	各学年主導で各種適性検査を実施する。		3.1	13
3	進路情報の活用を促進する。			
①	年３回以上の『進路だより』の発行により、生徒と保護者への情報の効果的な提供を行う。		3.6	5
②	ハローワークや進路アドバイザー等、関係諸機関との連絡を密にし個別面談を通し進路実現を支援する。		3.7	2
4	受験指導を充実させる。			
①	実際の進学や就職試験問題を提示し、個々を支援する。		3.2	11
②	個別の添削指導、模擬面接、小論文指導を実施する。		3.7	2
5	求人開拓を行う。			
①	(1)企業訪問、内定した企業へのお礼訪問を実施する。		3.8	1
②	(2)ハローワーク主催の就職面接会に目的意識を持って積極的に参加する。		3.6	5
③	(3)来校求人者へ本校を正しく理解してもらう。		3.2	11
④	(4)ハローワーク主催の企業採用担当者と進路指導教諭の情報交換会に参加する。		3.4	9
	結果に対する分析・努力目標の反省			
	１①新型コロナの影響で例年の実施時期より遅れて実施した。時間に遅れる生徒が多少見受けられた。本年度は就職面接会は該当者がおらず参加者はいなかった。新型コロナの影響が多少はあった。②進路講話は目的別に低学年、高学年に分けて実施し、新型コロナの影響で４年生は８月に就職準備会を実施したことが進路意識の高揚につながった。③本年度は在校生全員に就職の手引き、該当の4年生に公務員の手引きを配布した。２①ハローワークが毎週発行する求人情報を計画的に毎週掲示出来た。諸手続きの際助言を与えて取り組ませた。②生徒の実態を十分踏まえ各学年の考えを参考になるよう検査案内等の回覧の頻度を多くして情報提供したい。３①進路だよりの発行の時期,内容を工夫したい。②ハローワークの就職支援ナビゲータとは会議等で、進路アドバイザーとは打ち合わせを特定の曜日と時間に設定し固定したこと、必要があれば電話連絡等をし密にした。４①就職書類が完了後助言を与え受験報告書を参考に受験に臨ませた。消極的な生徒も見受けられた。②スクールタイム前や放課後に教科担当者に個別指導を受けた生徒もいた。面接指導は複数の教員で協力したことが大きな要因である。５①新型コロナの影響で企業訪問は三社のみだったが、内定者のお礼訪問は内定した企業全部を対象に実施できた。企業訪問の内容は進路だよりに掲載し在校生への進路意識の喚起を図った。内定した生徒にはお礼訪問の内容を伝え４月からスタート出来るように助言を与えた。就職面接会は該当者がおらず参加者はいなかった。新型コロナの影響が多少はあった。②本年度は就職面接会は該当者がおらず参加者はいなかった。新型コロナの影響が多少はあった。③新型コロナの関係で来校出来ない時期があったが、来校者にはスクールガイド等を配付し本校について十分理解してもらえるよう努めた。本年度は新型コロナの関係で中止となったが、ハローワーク主催の職業紹介業務連絡会議には参加することができた。			

Ⅳ	保健部			
1	基本的生活習慣の育成を図る。…(1)昼夜逆転の身体的精神的影響や睡眠障害について理解させる。(2)規則正しい生活が重要であることを理解させる。			
①	健康に留意した生活習慣を身につけさせるための啓発活動として、保健便りを作成する。		3.8	1
②	きちんと食事をとることの大切さを意識づけるため、朝食を見直そう週間を２回実施する。		3.8	1
③	食後の歯磨きを習慣づけるためのポスターを作成させる。		3.3	16
④	喫煙・受動喫煙の影響について、保健便り等で注意を呼びかける。		3.7	9
2	相談活動を充実…(1)健康上の問題がある生徒に個別面談を実施し、個々の問題点を明らかにさせる。(2)カウンセラーを積極的に活用し、専門的な視点でアドバイスを頂き、指導の徹底を図る。			
①	SC講話の「心の健康教室」を実施する。		3.8	1
②	保護者対象のSCによるカウンセリングを1回実施する。		3.8	1
③	中高連携シート・保健基礎調査票による事前調査を実施し、カウンセリングに活用させる。		3.8	1
④	悩みを抱え込まずに他者に相談するよう、生徒への声をかけや、保健便り等を通して呼びかける。		3.8	1

⑤	全職員の協力と共通理解を図るために職員協議会で生徒の状況について情報交換する。		3.7	9
3	定期健康診断の完全実施…関係機関と連絡を密にし、すみやかに健康診断を実施できるように努める。			
①	本校の実態に即した健康診断計画を立てる。		3.8	1
②	検診・検査の日程を配布し、当日欠席しないよう呼びかける。		3.7	9
③	身体測定後はすみやかに個人通知する。		3.8	1
4	疾病・傷害の予防と早期発見、治療の徹底…自らの健康状態を把握し、検査および治療を受けるよう指導する。			
①	早期発見・治療をさせるために、異常がある生徒に治療の勧めを配布する。		3.7	9
②	検査、治療を促すために、未受診者に対し個別指導をする。		3.7	9
③	３年生まで医療費が無料なことを保健便り等や各終業式等で連絡し完了を促す。		3.7	9
5	校内環境美化、清掃の徹底…学習環境を整える。			
①	厚生委員による校内の美化活動を行う。		3.2	17
②	清掃を徹底させるために、会工の保健部と連絡調整する。		3.7	9

結果に対する分析・努力目標の反省

1①保健だよりは、定期的に発行できた。その他に医師の視点から健康増進についての「保健ニュース」も発行し健康に関する意識を高めた。②今年度は休業措置となり1回は中止、1回だけの実施であったが、外部講師を招いての栄養教室の開催もでき、感想文から日々の食事の大切さを認識できたと思われる。③啓蒙ポスターは取りかかりが遅くなったが生徒の活動として作成できた。④喫煙の害については教科「保健」や保健だより等で呼びかけた。２①専門的立場からSCよる講話を実施し自己理解を深めることができた。③連携シートや保健調査の活用により生徒理解を深めた。３①健康診断はコロナの影響で時期がずれたが実施できた。③個人通知もできた。４①複数回、受診を勧める文書を配布した。医療費無料の時期に治療するよう再度指導していきたい。

Ⅴ　1学年

1	授業や家庭学習を大切にさせ、基礎学力を身に付けさせる。			
①	①授業において他の意見をよく聞くこと、分かりやすく話すことの大切さを指導し、相互の理解を促す。		3.8	1
②	②予習や復習を促すために、勉強道具の持ち帰りを指導する。		3.3	13
③	③疑問点を自ら担当者に質問したり、資格試験に挑戦するなど、主体的な学習態度を持つよう指導する。		3.6	10
④	④定期考査の結果等に対し、適宜個別指導を行う。		3.6	10
2	進路意識の向上を図る。			
①	①ＬＨＲなどで、社会で求められるや人間像について考えさせる。		3.7	5
②	②ＬＨＲや面談により、自分の進路や将来について考えさせる。		3.7	5
③	③進路希望調査を実施し、保護者との連携をとりながら進路情報を提供する。		3.8	1
④	④進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。		3.6	10
3	基本的生活習慣を育成し健全な学校生活を送らせる。			
①	①ＳＨＲ、ＬＨＲ等において挨拶指導を行う。		3.7	5
②	②普段の生活の中で、敬語等、適切な言葉遣いを指導する。		3.7	5
③	③相談室だよりをＬＨＲで活用し、個人や集団生活におけるルールを遵守させる。		3.7	5
④	④学校行事や時間割変更などの連絡を早め、かつ繰り返し行い計画性をもって生活する習慣を身につけさせる。		3.8	1
⑤	⑤生徒に応じた生活指導のために、個人面談を行う。		3.8	1

結果に対する分析・努力目標の反省

コロナ感染予防のため、１学期に長期で自宅学習になってしまったことは、学校生活のリズムを作る上で大きなマイナスであったが、生徒達はそれぞれに自分の目的意識をもち生活していたと思う。今年は、学校や家庭においての基本的生活習慣の指導や、学習習慣の話しが主であった。次年度は自分の進路について考えたり情報を集めたりと、より具体的な取り組みにしていきたい。

V　2学年

1	基本的な生活習慣を定着させる			
①	規則正しい生活習慣と規範意識の確立		3.4	6
②	学校・社会・交通ルールなどを遵守することの必要性を認識させる。		3.6	2
③	給食を食べる習慣を身につける。また、給食を介してクラスメイトとの交流を図る。		3.6	2
2	基本的な学習習慣を定着させる			
①	基礎学力の向上に努めさせる。		3.6	2
②	理解できない所をそのままにせず、その都度質問するなどして理解していく努力をさせる。		3.4	6
③	日々の授業を大切にし、受け身にならないよう心掛けさせる。		3.4	6
3	進路意識を向上させる			
①	アルバイト等に積極的に取り組み、進路意識や社会性を育ませる。		3.3	9
②	LHRや面談を通して、進路について考えさせる。		3.6	2
③	本人はもちろん保護者とも連携を取り、考えていく。		3.7	1

結果に対する分析・努力目標の反省

進路意識の向上についてであるが、職業などの知識と供に社会性の涵養の一環としてアルバイトなどの奨励を引き続き行っていきたい。学習については、学習のみならず消極的な生徒がほとんどであるため、LHR等でソーシャルスキル・トレーニングを実施して社会性を養っていきたいと考える。

V　3学年

1	基本的な生活習慣を定着させる			
①	規則正しい生活習慣と規範意識の確立	さらなる向上に努めさせたい。	3.6	2
②	学校・社会・交通ルールなどを遵守することの必要性を認識させる。	規範意識を持って生活に臨んでいる。	3.6	2
③	給食を食べる習慣を身につける。また、給食を介してクラスメイトとの交流を図る。	給食を食べる習慣は個人差がある。	3.6	2
2	基本的な学習習慣を定着させる			
①	基礎学力の向上に努めさせる。	さらなる向上に努めさせたい。	3.4	8
②	理解できない所をそのままにせず、その都度質問するなどして理解していく努力をさせる。	積極的な姿勢が向上している。	3.4	8
③	日々の授業を大切にし、受け身にならないよう心掛けさせる。	積極的な姿勢が向上している。	3.6	2
3	進路意識を向上させる			
①	アルバイト等に積極的に取り組み、進路意識や社会性を育ませる。	個人差はあるが、取り組むことができている。	3.7	1
②	LHRや面談を通して、進路について考えさせる。	さらに話し合いを深めていきたい。	3.6	2
③	本人はもちろん保護者とも連携を取り、考えていく。	保護者との連携は今後の課題である。	3.6	2

結果に対する分析・努力目標の反省

年度当初、コロナ感染予防として長期自宅学習になったことで精神的に不安定な状況となり、基本的生活の習慣を崩してしまった生徒がいたが、２学期中ごろから落ち着いた生活を取り戻すことができた。
全員がアルバイトと学校生活の両立に積極的に臨んでおり、今後は進路意識を踏まえて取り組ませていきたい。
進路についての意識は低いのが現状であるが、本人をはじめ保護者とも連携を取りながら取り組んでいきたい。

V　4学年

1	基本的生活習慣や、場面に応じた服装・言葉遣いを身に付けさせる。			
①	職員室の入退室、SHR等において挨拶指導を行う。	一層の改善を図りたい	3.0	6

②	普段の生活の中で、大きな声ではっきり話すことや、適切な言葉遣いを指導する。	改善を図りたい	2.9	13
③	欠席、遅刻、早退を減らすため、回数が多い場合は保護者へ改善の協力を求める。	改善を図りたい	2.9	13
④	生徒の確実な準備のために、学校行事や時間割変更などの連絡を、早めかつ繰り返し行う。	一層の改善を図りたい	3.3	1
⑤	生徒に応じた生活指導のために、個人面談を行う。	一層の改善を図りたい	3.0	6
2	家庭学習の習慣化を促し、主体的に学習する態度を養う。			
①	SHRで課題等の有無を確認し、期限までに提出するよう呼びかけ、提出したかどうか確認する。	一層の改善を図りたい	3.0	6
②	予習や復習を促すために、勉強道具の持ち帰りを指導する。	一層の改善を図りたい	3.0	6
③	定期考査に対する意識を高めるために、定期考査前に学習計画を作成させる。	一層の改善を図りたい	3.1	3
④	定期考査の結果等に対し、適宜個別指導を行う。	一層の改善を図りたい	3.0	6
⑤	教科担任との連携を密にし、授業態度や提出物等に問題がないか確認し、問題がある生徒については指導をする。	改善を図りたい	2.9	13
3	進路意識を高め、生徒の希望に応じた進路決定を目指す。			
①	LHRで進路決定と卒業までのスケジュールを確認させる。	一層の改善を図りたい	3.0	6
②	進路希望調査や個別面談を通じて、生徒の進路希望を把握する。	一層の改善を図りたい	3.2	2
③	7月までに三者面談を行い、進路希望について生徒・保護者との共通理解を図る。	一層の改善を図りたい	3.0	6
④	進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。	一層の改善を図りたい	3.1	3
⑤	生徒の進路に応じ、計画的に筆記試験・面接練習などの個別指導を行う。	一層の改善を図りたい	3.1	3

結果に対する分析・努力目標の反省

基本的生活習慣や場面に応じた服装。言葉遣いを身に着けさせる指導において、改善を図りたい。それ以外の指導については、なお一層の改善を図りたい。

令和2年度　学校評価アンケート　（教職員用）

No	質　問	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
1	生徒に分かりやすい授業を心がけていますか。		3.7	4
2	学習事項が定着するように、繰り返し学習や復習をするなど、ていねいな授業を行っていますか。		3.8	1
3	個別添削指導、模擬面接、小論文指導など生徒の進路達成のための支援に努めていますか。		3.6	8
4	学校行事や部活動を通して、連帯感や円滑な人間関係の育成に努めていますか。		3.6	8
5	生徒の学習上の悩みや生活上の悩みなどの相談があるとき、懇切に相談に乗ったり、アドバイスをするよう心がけていますか。		3.6	8
6	『進路講話』は、生徒の進路意識高揚の上で役にたったと思いますか。		3.2	15
7	ハローワークや関係機関などの進路情報は、生徒が自分の進路を考える上で参考になったと思いますか。		3.2	15
8	生徒に進路上の悩みや相談があるとき、懇切に相談に乗ったり、アドバイスをするよう心がけていますか。		3.7	4
9	登下校指導や給食指導は生徒の規則的生活習慣の確立に寄与していると思いますか。		3.6	8
10	『生活体験発表会』は生徒の自己理解や自己実現に役立っていると思いますか。		3.7	4
11	『交通安全教室』、『薬物乱用防止教室』は、生徒が日常生活の安全を考える上で参考になったと思いますか。		3.6	8
12	スクールカウンセラーによる面談は、生徒の役に立っていると思いますか。		3.8	1
13	『心の健康教室』は心の健康に役立っていると思いますか。		3.6	8
14	鶴ケ城清掃ボランティアは、地域のために役立っていると思いますか。		3.6	8
15	給食は1食324円ですが、生徒にとって満足できる内容だと思いますか。		3.8	1
16	学校は、『オーロラ(学校だより)』、『相談室だより』、『進路だより』、『給食だより』、『レーゼ・ザール』、『PTA会報』などを通して、学校の情報を十分に提供していると思いますか。		3.7	4
17	その他、学校の取組に対するご意見ご要望等があればご記入ください。			